

# 議会だより

平成19年12月定例会



吉川市消防出初め式

## 主な内容

②～④…………… 12月定例会の概要

⑧～⑭…………… 市政に対する一般質問

⑥～⑦…………… 常任委員会の審査概要

⑮…………… ホームページ・傍聴案内

# 新春を迎えて



山崎議長



鈴木副議長

新年明けましておめでと  
ございます。輝かしい新春を  
お迎えのこととお慶び申し上  
げます。平素、吉川市議会に対  
して暖かいご支援ご協力を賜り、  
厚く御礼申し上げます。

昨年は、新潟県中越沖地震  
が起こり、天災の恐怖や凶悪  
殺人事件、食品の偽装問題な  
ど世相の荒れ惑う暗い年であ  
りました。

さて、政府は安倍前総理の  
辞任により、福田内閣に変わり、  
参議院で与野党が逆転し、ね  
じれ国会となり、混沌極まり  
ない政局であります。本市は、  
財政健全化に取り組むなか、  
市民ニーズは多様化し、期待  
は大きく増大しています。後  
期基本計画のもと諸施策が設  
定され、山積みされた課題を  
重要性を考慮し、優先率的に  
実施されています。昨年は、中

曾根小学校の耐震補強と大規  
模改修工事が完成し、子ども  
たちが明るく安全に安心して  
勉学が送れているとのことです。

また、都市計画道路整備の  
推進、基盤整備が進むなか、  
新駅の設置が決まり、未来に  
夢ある魅力あふれるまちづく  
り実現に市民の皆さんと共に  
英知を結集し、次の世代を担  
う子どもたちに誇れる吉川市  
とするため、議員一同全力で  
取り組んでまいります。また、  
市議会は任期満了。議員定数削  
減(20人)による初めての選  
挙です。選り優れた市民の審  
判を受けることです。この議  
会だよりが届くころには新議  
員が誕生していることになり  
ます。明るく住み良い安全安  
心なまちづくりを目指し、新  
議員が活躍することを期待  
しております。

# 12月定例会



議案の上程

12月定例会は、11月30日から12月14日までの会期で開催さ  
れました。今定例会では、25件の市長提出議案、4件の議員  
提出議案が上程され、いずれも慎重に審議が行われました。  
一般質問は16人の議員がおこないました。要約したものを8  
ページから掲載していますのでご覧ください。

## 市長提出議案

### 条例等

#### 〇すべて可決

第52号議案 吉川市職員の給  
与に関する条例の一部を改正  
する条例

人事院勧告に準じ、これを参  
考に職員の給与改定を実施する

ものです。  
《改正内容》

- ・子などに係る扶養手当  
6千円↓6千500円
- ・期末勤勉手当の支給月数  
4・45月↓4・5月
- 《適用年月日》
- ・給与の改定は平成19年12月1日
- ・扶養手当の引き上げは平成19

年4月1日から遡る  
第53号議案 吉川市情報公開・  
個人情報保護審査会条例の一  
部を改正する条例

第54号議案 行政財産の使用  
料に関する条例の一部を改正  
する条例

第55号議案 吉川市税以外の  
諸収入金に対する督促等に関  
する条例の一部を改正する条  
例

第56号議案 吉川市財産の交  
換、譲与、無償貸付け等に関  
する条例の一部を改正する条  
例

第57号議案 議会の議員の報  
酬及び費用弁償等に関する条  
例等の一部を改正する条例  
議会議員の定数削減を機に、

多くの方が議員に魅力を感じて  
いただけるような環境をつくり、  
もって議会の活性化を図るため、  
議会議員の報酬額を引き上げる  
とともに、あわせて人事院勧告  
の趣旨をふまえ、議会議員と市  
三役の期末手当の支給月数を職  
員と同様に引き上げるものです。

《議員報酬(月額)》  
議長 407千円↓422千円  
副議長 342千円↓369千円

委員長 323千円→356千円  
議員 311千円→341千円  
《期末手当支給月数》  
市三役・議員  
4・45月→4・5月  
《改定年月日》  
平成20年4月1日

第58号議案 吉川市社会教育  
委員設置条例の一部を改正す  
る条例

第59号議案 吉川市公民館条  
例の一部を改正する条例

第60号議案 吉川市視聴覚ラ  
イブラリー条例の一部を改正  
する条例

第61号議案 吉川市地区セン  
ター条例の一部を改正する条  
例

第62号議案 吉川市民交流セ  
ンターおあしす条例の一部を  
改正する条例

第63号議案 吉川市立吉川小  
学校特別教室使用料条例の一  
部を改正する条例

第64号議案 吉川市市民プー  
ル条例の一部を改正する条例  
利用の増進を図るため改正す  
るものです。

《利用時間》

3時間3部制→2時間4部制  
《利用料金》※個人の場合  
一般 500円→300円  
中高生300円→150円  
4歳～小学生  
200円→100円

第65号議案 吉川市国民健康  
保険条例の一部を改正する条  
例

医療制度改革に伴い、平成20  
年4月から乳幼児の医療費を2  
割負担に軽減する対象年齢が、  
「3歳未満」から「小学校就学  
前」までに拡充され、70歳から  
74歳までの高齢者の一部負担割  
合が「1割」から「2割」に引  
上げられることから、所要の改  
正をするものです。

また、葬祭費については、健  
康保険法施行令の一部が改正さ  
れ、平成18年10月から支給額が  
一律5万円になったところです。  
被用者負担や他市町村の支給状  
況を考慮し、現行の「8万円」  
から「5万円」に改正するもの  
です。

第66号議案 吉川市後期高齢  
者医療に関する条例

高齢者の医療の確保に関する  
法律に基づき、平成20年度から  
後期高齢者医療制度が実施され  
ることに伴い、市が行うべき後  
期高齢者医療の事務に関する条

例を定めるものです。

第67号議案 吉川市まちづく  
り整備基準条例の一部を改正  
する条例  
「都市の秩序ある整備を図る  
ための都市計画法等の一部を改  
正する法律」の施行に伴い、所  
要の整備をするものです。

第68号議案 吉川市地区計画  
区域内における建築物の制限  
に関する条例の一部を改正す  
る条例

建築基準法に基づく「吉川駅  
南地区地区整備計画」の変更に  
伴い改正するものです。

第69号議案 市道の路線認定  
及び廃止について  
宅地開発に伴う市道の路線認  
定、道路の払下げに伴う路線廃  
止、道路の付替えに伴う路線の  
認定と廃止をするものです。

《認定》  
1-1390号線（下内川）  
2-1771号線（栄町）  
2-1772号線（大字保）  
《廃止》  
1-883号線（下内川）  
1-1205号線（上内川）

第76号議案 工事委託契約の  
変更契約の締結について  
独立行政法人都市再生機構と  
平成18年9月19日に締結した吉  
川駅南地区工事委託変更契約の  
委託期間において、国庫補助事

業における県との協議に期間を  
要したことにより、委託期間平  
成19年12月28日を平成20年3月  
25日まで延長する変更契約を締  
結したためです。

補正予算

○すべて可決

第70号議案 平成19年度吉川  
市一般会計補正予算（第3号）  
既定の歳入歳出予算の総額に  
歳入歳出それぞれ8642万8  
千円を追加し、歳入歳出予算の  
総額を歳入歳出それぞれ161  
億4802万5千円とするもの  
です。

第71号議案 平成19年度吉川  
市国民健康保険特別会計補正  
予算（第2号）  
既定の歳入歳出予算の総額に  
歳入歳出それぞれ1億7437  
万4千円を追加し、歳入歳出予  
算の総額を歳入歳出それぞれ67  
億6912万2千円とするもの  
です。

第72号議案 平成19年度吉川  
市下水道事業特別会計補正予  
算（第2号）  
既定の歳入歳出予算の総額か  
ら歳入歳出それぞれ6239万  
円を減額し、歳入歳出予算の総  
額を歳入歳出それぞれ18億27

63万9千円とするものです。  
第73号議案 平成19年度吉川  
市老人保健特別会計補正予算  
（第2号）  
既定の歳入歳出予算の総額に  
歳入歳出それぞれ1億8127  
万2千円を追加し、歳入歳出予  
算の総額を歳入歳出それぞれ29  
億9665万3千円とするもの  
です。

第74号議案 平成19年度吉川  
市農業集落排水事業特別会計  
補正予算（第2号）  
既定の歳入歳出予算の総額に  
歳入歳出それぞれ824万1千  
円を追加し、歳入歳出予算の総  
額を歳入歳出それぞれ3662  
万円とするものです。

第75号議案 平成19年度吉川  
市下水道事業会計補正予算（第  
2号）  
既定の収益的支出の予定額に  
384万4千円を追加して13億  
4543万5千円とするもので  
す。また、既定の資本的支出の  
予定額から121万円を減額し  
て8億3092万2千円とする  
ものです。

### 議員提出議案

○すべて可決

議員提出第19号 議会議員の報酬等の特例に関する条例を廃止する条例

平成17年12月1日から平成20年1月31日までの間において議会の議員の期末手当支給月数を0・1月引き下げていたものを期間が満了するので廃止するものです。

#### 《6月分》

100分の207・5

100分の212・5へ

#### 《12月分》

100分の227・5

100分の232・5へ

議員提出第20号 メディカルコントロール体制の充実を求める意見書

議員提出第21号 米価の安定対策を求める意見書

議員提出第22号 原油高騰による生活直撃に対して緊急対策を求める意見書

議員提出第23号 地方交付税制度の堅持と地方財政の充実を求める意見書

#### 提出した意見書（一部抜粋）

意見書の提出は地方自治法第99条に定められた地方議会の権限のひとつであり、当該地方公共団体の公益に関する事件について、国会または関係行政庁に意見書を提出することができま

#### メディカルコントロール体制の充実を求める意見書

- 1 全国メディカルコントロール協議会連絡会を定期開催し、地域メディカルコントロール協議会との連携強化を図ること
  - 1 メディカルコントロール協議会を充実させる為の財政措置の増大を図ること
  - 1 オンラインメディカルコントロール体制の構築を推進すること
  - 1 救急救命士の病院実習や再教育の充実・強化を図ること
  - 1 救急活動の効果実証や症例検討会の実施を図ること
- 提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣

#### 米価の安定対策を求める意見書

- 1 「緊急対策」を実効あるものにするため、政府米の買い上げを一刻も早く実施すること。また、生産コストを下回らない水準で買い上げること。
- 2 備蓄水準を現在の100万トンから200万トンに増やし、備蓄の役割を終えた古米混入を主食以外の用途に振り向けるシステムに変更すること。米価に影響を与え、食味の悪さから米の消費離れを引き起こしているクズ米を規制するためJAS法を改正すること。
- 3 ミニマムアクセス米のスタート時に国民に約束した「閣議了解」を厳守し、10万トンに及ぶSBS米の主食用販売を中止すること。米価の引き下げ要因となつている200万トン近いミニマムアクセス米の在庫を一掃するとともに、ミニマムアクセス米の輸入数量を大幅に削減すること。
- 4 政府は、生産調整目標を達成しない都道府県や地域に「他の補助金等の採択や配分について考慮する」というペナルティの復活をやめること。生産調整の実施にあたっては飯米農家を除外するとともに、自給率の低い作物の生産振興に誘導することを基本とし、生産者団体まかせをやめて政府の責任でおこなうこと。

提出先 内閣総理大臣、農林水産大臣、外務大臣

#### 原油高騰による生活直撃に対して緊急対策を求める意見書

- 1 ガソリン税を引き下げガソリン価格を引き下げること
  - 2 業界による出荷制限など便乗値上げが行われないように監視・指導する価格の適正化を図ること
  - 3 各県の在庫量を把握し、必要なら原油備蓄を取り崩しても、安心できる量の確保と安定供給ができるようにすること
  - 4 卸売価格の公表など、国民に情報を提供すること
- 提出先 内閣総理大臣

#### 地方交付税制度の堅持と地方財政の充実を求める意見書

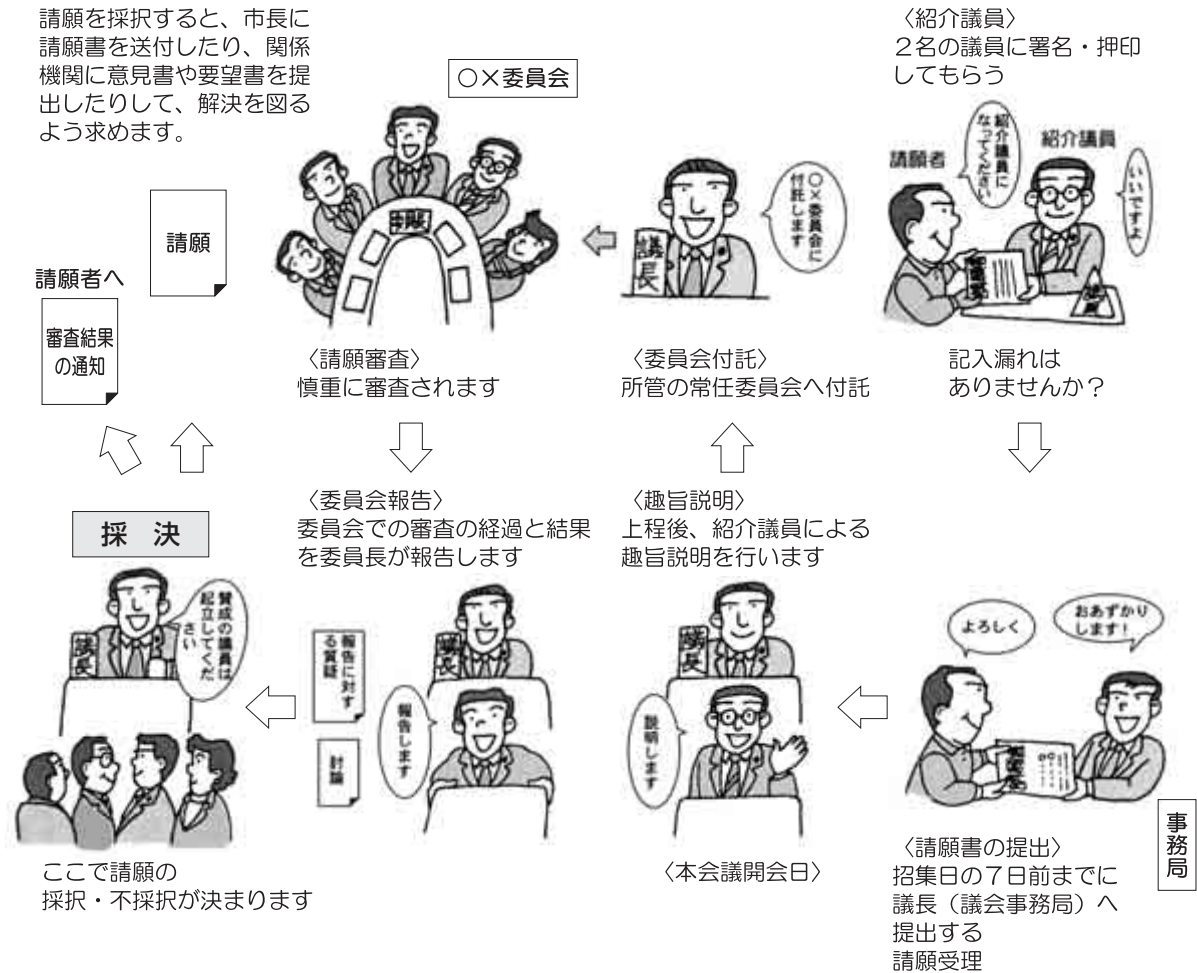
平成19年度、「地方財政計画」の規模は83兆1261億円で前年度比247億円の縮減ではほぼ全体として必要な財源は確保されたとしています。地方交付税と臨時財政対策債は平成18年度に比べ約1兆円の削減となっています。吉川市では、1億3251万8千円の減額となっています。地方交付税は、地方自治体にとって地方税とならぶ最も大切な財源であり、地域住民の福祉施策の充実や地域の産業振興な

ど、地域の行政需要にこたえるうえでも重要な財源であります。今年度から新型交付税が導入されましたが、政府におかれましては、今後とも、地方交付税制度の堅持と地方財政の充実につとめられるよう強く要望します。提出先 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長

### 12月定例会の日程

- 11月30日 本会議「開会」
  - 12月4日 本会議 議案審議
  - 12月5日 委員会 総務常任委員会 文教常任委員会
  - 12月6日 委員会 福祉生活常任委員会 建設水道常任委員会
  - 12月11日 本会議 委員長報告
  - 12月12日・13日・14日 本会議 一般質問
- 「閉会」

請願を採択すると、市長に請願書を送付したり、関係機関に意見書や要望書を提出したりして、解決を図るよう求めます。



請願の提出から採決まで

事務局

# 請願の出し方

## 【請願書記入例】

|                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>内容（2枚目）</p> <p>1 件名……………について</p> <p>2 要旨……………</p> <p>3 理由……………</p> <p>……………</p> <p>……………</p> <p>地方自治法第124条の規定により上記のとおり請願書を提出します</p> <p>年 月 日</p> <p>吉川市議会議長 様</p> | <p>表紙（1枚目）</p> <p>〇〇〇〇に関する請願</p> <p>紹介議員 ○〇〇〇 印</p> <p>○〇〇〇 印</p> <p>請願者</p> <p>住所 ○〇〇〇〇〇</p> <p>氏名 ○〇〇〇 印</p> <p>郵便番号・電話番号</p> <p>（団体名・代表者名印）</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- 次の要領で提出してください
- ① 用紙はA4サイズを使用してください。
  - ② 住所、氏名（法人及び団体はその事務所の所在地、名称、代表者の氏名）、電話番号、提出年月日を記載し、必ず押印してください。
  - ③ 署名運動による請願については、住所、氏名を自署してください。
  - ④ 記入例に従い、件名は端的に、要旨は簡潔に、理由は内容を詳しく、ご記入ください。
  - ⑤ 表紙の紹介議員2名の署名押印が必須です。
  - ⑥ 請願事項が複数の場合、1件で1部提出してください。
  - ⑦ 道路、用水などは正式名称を記載してください。
  - ⑧ 請願事項に関する地図や、参考資料などがあれば添付してください。
  - ⑨ 招集日の7日前までに提出されたものをその議会で審査し、それ以外のもは次の議会で審査することになります。なお、招集日については議会事務局までお問い合わせください。



# 常任委員会の審査概要

委員会ではこんな活動をしています

※本文は各常任委員長が要約したものです

## 総務

## 務

12月定例議会において当委員会に付託された案件は、条例1件、補正予算担当分でありました。

①第57号議案 議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例については、特別報酬審議会に市長から諮問し、審議をいただいたもの。審議会委員の方々からも改選に伴い議員定数削減により、総額では減額になるなど市民の理解が得られるものと判断したとの報告。また、議員定数の削減を機に議員の負担も増

え、報酬を引き上げることにより幅広い方が立候補できるように少しでも環境を整えたいというのが趣旨。本市の議員報酬は県内最低レベルであり、類似団体の報酬額を参考にしたもので来年4月1日施行とする内容。採決の結果、賛成多数で可決。

②平成19年度一般会計補正予算(第3号) 担当分については、人件費について質疑がありました。人事異動や退職者の人件費の補正で、特別会計を含めると総額ではマイナスになっている。今回の債務負担行為補正では、コストの削減が目的ではなく、来年の4月1日に

継続されていなければならぬものであるとのこと。また、吉川新駅設置計画調査負担金について質疑が集中し、市負担分の財源に対する見解についての問いには、新駅は市のまちづくりにおいて必要不可欠であり、厳しい財政状況であるが負担割合の軽減を図っていただくように担当に鉄道運輸機構との協議を進めていただくようお願いしているとの内容。採決の結果、賛成多数で可決。

## 文

## 教

当常任委員会には、条例2件、補正予算1件の3議案が付託され、審査いたしました。

第59号議案 吉川市公民館条例の一部を改正する条例では、条例改正の概要についての質疑があり、文言整理と七宝焼窯・電動ろくろ使用料の表記の整理をした。使用料は変わらないとのことでした。第64号議案 吉川市市民プール条例の一部を改正する条例では、①条例改正は利用の増進を図るためと理解している。

②スポーツ施設としての役割に加え、健康増進する役割もある。  
③今後、利用料の無料化についてはいかがか、等の質疑に対して、改正にあたり、  
①利用の実態を調査した。  
②利用時間を2時間、利用料金を300円とした。  
③料金引き下げにより利用者の増進を図るため、PR活動を重点的に実施していきたい。

また、市民の声を聞き、直ちに対応をしたと、高く評価するとの意見もありました。  
第70号議案 平成19年度吉川市一

般会計補正予算(第3号) については、  
①学校用務員の臨時職員賃金について  
②マンモス校に対する配置の強化策  
③多目的室を普通教室に改装することの不具合  
④公民館などを併設での学校運営状況  
⑤駅南地区の小・中学校建設予定と方法  
⑥体育大会派遣費補助金の内容  
⑦臨時職員賃金の補正理由  
⑧学校給食センターの補正内容等について、活発な質疑応答があり

ました。  
採決の結果、3議案とも賛成全員で、常任委員会は、原案の通り可決することに決定しました。



# 福祉生活

本定例会におきまして、当委員会での審査は、6件であります。審査日時は12月6日に委員全員出席して行いました。

**第65号議案 吉川市国民健康保険条例の一部を改正する条例**

健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う一部負担金の割合等並びに被用者保険及び他市町村との均衡を考慮した葬祭費の支給額（8万円を5万円）について、改正するもの。

**第66号議案 吉川市後期高齢者医療に関する条例**

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく後期高齢者医療制度の実施により、市が行うべき事務に関する条例を制定するもの。

以上の2案件については、賛成多数で可決。

**第70号議案 平成19年度一般会計補正予算担当分。**

民生費、障害福祉費で情報支援機器購入費、配食サービス負担割合等の質疑のあと採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決。

**第71号議案 平成19年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算。**

1億7437万4千円を追加補給に廃止について」では、現地視察を実施した上で質疑を行い、台帳の幅員と現況が異なる場合は両方の数値を記入すべきとの質疑があり、今後は両方の数値を記入しやすとの答弁があり、賛成全員でした。

**第70号議案 「平成19年度一般会計補正予算」**は工事請負費の補正内容は、との質疑に対し、新栄地区内で行う市道2-924号線の道路改良で20ヶ所の摺り付けを行うとの答弁でした。新駅設置計画調査負担金の内容の質疑があり、建築・軌道・機械・土木・電気の5項目の設計調査で3億円となり、この内、2億円が負担金の概要で

正するもので予算総額を67億6912万2千円とするもの。

**第73号議案 平成19年度吉川市老人保健特別会計補正予算。**

既定の予算総額に1億8127万2千円を追加補正し予算総額を29億9665万3千円とするもの。

**第74号議案 平成19年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算。**

既定の予算総額に824万1千円を追加補正し予算総額を3662万円とするもの。

**第71号議案、第73号議案、第74号議案の3議案**については、質疑、討論はなく、採決の結果賛成全員により原案のとおり可決すること

す、との答弁があり、またJRから新駅概算費用が78億円と示されたので調査設計の結果を踏まえ、鉄道運輸機構との協議の中で負担割合を決定します、との答弁があり、賛成全員で可決しました。

**第72号議案 「平成19年度下水道事業特別会計補正予算」**は賛成全員でした。

**第75号議案 「平成19年度水道事業会計補正予算」**では、時間外勤務手当の質疑には、駅南地区配水管布設、市単独配水管布設、国庫補助石綿管布設替、東京電力受託、市河川下水道課の切り廻し工事との答弁で賛成全員でした。

**第76号議案 「工事委託契約の変更契約の締結について」**は、賛成全員で可決しました。

# 建設水道

今回の委員会活動は、12月定例会の委員会審議についてご報告をいたします。委員会の審議案件は、6件でした。

はじめに**第68号議案 「吉川市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例」**を審議しました。

地区計画の基本的な理念は、との質疑に対し、駅南地区は基本的に低層住宅主体、幹線道路沿線は沿道サービス用の店舗もできますとの答弁で賛成全員でした。

**第69号議案 「市道の路線認定及**

に決定しました。



変更契約の締結について」は、賛成全員で可決しました。



常任委員会の名称・定数・所管事項（任期2年）

| 委員会名      | 定数 | 所管事項                                                                                      |
|-----------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総務常任委員会   | 8人 | ・一般会計の歳入に関する事項<br>・政策室、総務部、会計課、議会、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会に関する事項<br>・他の常任委員会に属さない事項 |
| 文教常任委員会   | 6人 | ・教育委員会に関する事項                                                                              |
| 福祉生活常任委員会 | 6人 | ・健康福祉部、市民生活部、農業委員会に関する事項                                                                  |
| 建設水道常任委員会 | 6人 | ・都市建設部、工事検査課、水道課に関する事項                                                                    |

市政に対する

一般質問

一般質問は、12月12日・13日・14日の3日間にわたり16人の議員が活発な論戦を展開しました。
※質問・答弁とも質問者が要約しました。

人材育成基本方針を生かし
持続可能なまちづくりを

田口 初江

(問) 3月に策定された「吉川市人材育成基本方針」で、吉川市が求める職員像は「チャレンジ精神と経営センスを持ち、絶えず自己と仕事の変革に取り組み職員」とされ、これに近づくように職員は常に努力しなければならぬと定められている。

厳しい財政状況の下、持続可能な自治体運営のためには、職員の意識改革と資質向上が不可欠である。この基本方針を全職員が共有し、積極的に取り組むべきと考えるが、ご見解は。
(答)市長 限られた行政資源の中で充実した行政サービスを提供



吉川市品質マニュアル

していくためには、職員の資質の向上や意識改革が不可欠であると考えている。限られた予算の中においても、職員研修の内容の充実に努めるとともに、ISO9001の取り組みや事務事業評価制度の導入などを通じて、職員の資質向上や意識改革に取り組んできている。また、常に問題意識を持ち、どうあるべきかといった視点で仕事にあたることができる職員を育成していくことが重要と考えている。

教育行政の現状と課題

(問) 教育行政を取り巻く環境が急激に変化しているが、市の教育行政の重要な課題は何か。
(答)教育長 特色ある学校づくりの推進や基礎基本の徹底など、子どもが自ら学び、自ら考える

「生きる力」を養う教育を推進している。教育は人なりと言われるように、教職員の配置や資質の向上は重要な課題の一つであると考えている。引き続き、教育環境の整備に努めていく。
(問) 駅南地域の学校建設について、どのように考えているか。
(答)教育長 小学校と中学校が必要になると考えている。児童・生徒数の推移状況を十分に勘案しながら対応し、よりよい教育環境を最優先に考えていく。

慢性の病気を持つ
児童生徒の支援を

玉川 正幸

(問) 学校では最近、社会環境の変化と複雑化していくなかで、いじめや不登校、薬物乱用、生活習慣病など、子どもたちの心や体に様々な影響を及ぼしています。
その中で、慢性の病気を持つ子どもたちが多くなってきています。子どもたちの病気は様々な、心臓病や喘息など、いろいろな疾病を抱えた子どもたちが在学しています。

そのようななかで、みんなと一緒に行動できず「さぼっている」などの誤解をされてしまうこともあるでしょう。そのようななかで子どもたちの心身の成長に大きな影響を与えることになりません。

心豊かでたくましく子どもたちが成長するためには、学校で子どもたちの健康管理や健康教育の推進を積極的に取り組むことが大切であると考えます。慢性の病気を抱えた子どもたちの把握と支援にはどのような配慮をしているのかお伺いします。
(答)教育部長 吉川市の児童生徒についても心配される事例があると学校から報告を受けているところですが、「病気を持つ子どもたちの把握と支援」については、就学時健康診断や、保護者が子どもの疾病状況や健康状態などを申告する「保健調査票」で把握して、一人ひとりに応じた健康管理を行っています。

学校で突然病気を発病した場合などは、養護教諭が症状を確認し迅速な処置を行い、養護教諭が不在の場合でも対応マニュアルに沿って、保護者・病院等と連携し対応できるようになっています。
様々なハンディキャップを持つ子どもが多くなります。そこで

子どもたちにも互いに支えあう思いやりの気持ちを育てる「心の教育」を道徳の授業や学級活動を通じて指導し、推進しているところですが。

今後の指定管理者制度に
移行する公共施設について

松崎 誠

(問) アウトソーシングの積極的な活用により、施設の管理コストの削減を図り、また、行財政改革の推進という観点からも、全庁的に取り組んでいただき、より良い公共サービスとスリムで効率的な市役所を目指していただき、吉川市民がもっとよりよい公共サービスを受けられるよう公共施設の管理運営のあり方について質問。当市でも平成18年4月から第3保育所、老人福祉センターにアウトソーシングとしての指定管理者制度を導入し、管理運営を委託しております。今後の指定管理者制度へ移行する公共施設において多くの市民の方々も高い関心を持って推移を見守っているようにも見受けられます。公共施設と將





指定管理者制度導入予定の市民交流センターおあしす

来のな管理運営のあり方についてお伺いします。

(答)市長 今現在、アウトソーシング可能なものは134事業あり、管理の手法を、①施設の民営化、②指定管理者制度の導入、

③基幹部分を直営として個別業務のアウトソーシング、④基本的にすべての管理を市が直営で行う等の4つに区分し、それらに適した最適な手法を選択していき、可能なものからアウトソーシングを進め、市は自ら実施することが必要な施設管理のみを行っていきたい。今後、市民の皆様により良い公共サービスを提供していく中で、NPOや市民団体の皆様にも市がアウトソーシングを進める様々な業務を担っていただけるよう検討していただければと考えています。

## 新駅の設置は

### 百年の大計に立って決断を

中武 紘一

また、導入の時期については直営を継続する公共施設を除いて、概ね3年以内、5年以内、10年以内の3期に分けて計画をしています。今現在、見直し作業を進めており、内容がまとまり次第、行財政改革推進プランの素案に盛り込み、パブリックコメントを経た上で改定していきます。

(問) 私は今期で議員を引退します。4期16年ご指導ご鞭撻いただいた議員の皆様、執行部・職員の皆様にご心より感謝御礼申し上げます。最後の質問ですので吉川市にとって百年の大計と云える事業、武蔵野操車跡地及び周辺地区整備は、市の一大プロジェクトです。吉川市総合振興計画に、新駅を中心とした各種都市機能を備えた複合新拠点と位置づけ、市議会でも3月議会で、後期基本計画を承認しました。新駅設置及び周辺開発の進捗を伺います。

(答)市長 JRより、総事業費上

限78億円、吉川市負担49億円、JR負担29億円が提示され、現在鉄道運輸機構と49億円の負担割合について協議中。できるだけ市の負担が少なくなるよう交渉する。年内に締結し23年度開業ができる。周辺開発については、新駅設置が決まり次第進めていきたい。

(問) 財政厳しい中、何で新駅設置かとの意見がある。平成19年度中に処分を完了の期限が定められているのではないかと。

(答)市長 JRより、総事業費上

## 農業行政

### 耕作放棄地の解消について

岡田 喬

(答)都市建設部長 中武議員ご提案のとおり進めてまいります。

(問) 農業に魅力がないから後継者がなく、高齢化も手伝って耕作されず放置された農地が市内でも増加傾向にあります。耕作放棄地の解消について市の考えを伺います。

(答)市長 耕作放棄地の問題は全国的に大きな問題となっております。当市では、農業委員会やJAと連携し、耕作放棄地を解消し、農地の維持・管理に努めていくため、「農地利用集積計画事業」に取り組んでおります。この事業は、耕作や管理ができない農家から委託希望を募り、規模拡大を目指している担い手農家などに紹介を行い、期間や賃貸借などの利用権を設定し、耕作や管理をするものであります。また、農業委員会は、現地調査を行い、維持・管理に努め

るよう指導してまいります。今後、後継者や新規就農者の確保、農地の保全に取り組んでまいります。

## 内川橋交差点整備について

(問) 工事区域通行の一般利用者が通学路の安全確保と整備内容について伺います。

(答)都市建設部長 県では、交通事故の削減と渋滞緩和を目的として右折帯を設置する工事を平成19年度完成を目指し実施しております。整備内容は、工事延長が400mで幅員3mの右折帯を設置し、合わせて歩道を3.5mに拡張するものです。また、工事中の安全確保については、迂回路を設けて、車道と歩道を分離し、誘導員を配置して歩行者などの安全を確保しながら工事を進める、と聞いています。

## 狩猟区域の規制について

(問) 近隣5市1町においても吉川・松伏の一部を除いて狩猟区域である。安全安心、自然保護のためにも禁猟区域に指定を。

(答)市民生活部長 自治会等の要望を関係機関に働きかけます。



改装中の老人福祉センター

### 福祉サービス切り捨ての

### 「行財政改革」見直しを

高野昇

(問) 自公政権のもとで構造改革が押し進められ、リストラによる失業や倒産、自殺者も相次いでいる。その上増税と負担増、貧困も深刻化している。市の行財政改革は、こうしたもつで実施され、市民生活に密着した福祉に大ナタがふられている。市民の暮らしの実態から市の行革を検証し見直しが必要。  
(答)市長 現在、新たな項目の追加や、これまでの数値目標の見直しなどを主とした、行財政改革推進プランの見直し作業を進めております。

### 老人福祉センター

### 非常口と書庫の設置を

(問) 施設管理者から、利用者の安全上、非常口の設置が必要である事、また書庫の設置も要望されました。要望に応え改善を。  
(答)健康福祉部長 新たに南側集会施設の出入り口と、大広間ステージ近くに緊急避難出口として開設します。書庫については現在の浴室廃止により、使用されなくなりまずポンプ室を活用できるようにします。

### 学童保育室の運営改善を

(問) 厚労省が放課後児童クラブガイドラインを発表した。このガイドラインには学童保育室の「専用スペース」としての機能が確保されるよう内容が追加されている。ガイドラインと埼玉県の運営基準に照らし、学童保育の運営改善を。  
(答)健康福祉部長 ガイドラインと県の基準に照らし、来年度の見込み児童数を見ると、旭学童が基準から外れるため、指導員と協議し、45人程度までは受け入れが可能だと聞いています。今後恒常的に児童数が増える見込があれば、増築が必要です。

### 吉川市の農政と

### これからの農業に 活路はあるか

高崎 正夫

(問) 国が進める農政は、全国一律農政の問題、品目横断的経営安定対策など、当市においては、都市近郊であることの利点を生かすための農家の自主、自助努力は限界があるので政治、行政がより強くこれからの都市農業の方向を示す責任はないでしょうか。  
(答)市長 国の農業政策は従来から、全国一律での事業などを展開しており、生産調整など同一の品目を奨励しているのが現状でございます。自然条件や社会条件が異なっておりますので、地域の特色を生かし、地域の実情にあった農業を進めていくことが重要であると思っております。

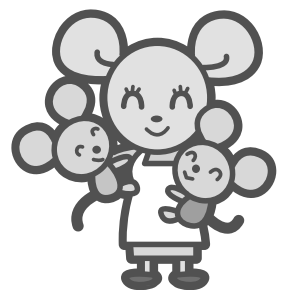
(問) 米価対策は、生産調整によるものと、付加価値をつけるものとあるが、生産調整には限界があると考えます。そして兼業農家の活路をどこに求めるか行政の指導力をうち出すべきではないでしょうか。  
(答)市長 生産調整のみで米価の維持を図ることは困難であると予想され、有機栽培などの付加価値をつけて、一定の価値をつけていく必要があると考えております。また、農家の活路については当市におきましては、水田農業が大半を占めていること、また、比較的小規模な兼業農家が多いことなどから、吉川の農業と農地を守っていくためには、コストや労力の削減などの認識を高めていくことが必要であると感じております。

### 駅前サービスセンターに

### 期日前投票所の増設を

阿部 民子

(問) 一月の市議会議員選挙には25名分の約1千7百万円の予算が計上されている。有権者の方には関心をもって投票していた



できたが、投票率を高めるには啓発だけでは限界がある。利便性を高める必要がある。実現性は。  
(答)総務部長 施設の種類、駐車場、職員配置から現段階での増設はできないと判断。  
(問) 選挙時のみ無所属で立候補し、当選後公党として活動することについて見解は。  
(答)市長 本人の政治的判断です。

### 「レモン石鹸」から「無添加石鹸」に切り替えて

(問) 上尾市では子どもたちのアトピーなどのアレルギーを引き起こす着色料や香料などの『指定物質』が含まれている「レモン石鹸」を全廃している。学校や公共施設への指導を。  
(答)教育部長 学校ごとに購入し石鹸利用は様々であるが、環境面、アレルギー等へも今後配慮していく。

### 臨時職員の処遇改善を

(問) 近隣との比較を含め、現状と改善についての見直しは。

(答) 政策室長 臨時職員の賃金は正規職員の給料月額改定の引き下げ等もあり、平成9年以来据え置いている。一般事務職の時の780円は県平均798円より下回っているなど低い。今年度中に検討していく。

廃棄物等減量審議会への  
諮問内容と方針は

(答) 市長 ごみ減量に努めてもお効果が期待できない時、1つの方策として家庭ごみ有料化も検討すべきとの前回の審議会答申をふまえ、想定される適切な具体的実施方策の検討をお願いした。今後必要に応じて有料化も検討したい。

小松川工専の  
産廃進出に規制を

伊藤 正勝

(問) 小松川工専について、工業会の代表が先に千百人の署名をそろえて県議会に「産廃業者の新規参入の規制」を陳情した。市はこれをどう受けとめ対応し

ていくのか。

(答) 市長 地域の住民や企業が「進出に反対」という強い意志を持っていることを改めて認識した。進出希望の企業にその旨を伝えようとする。環境保全がはかれるよう「協定」を結ぶに当たっては、これまで以上に地域の意向が反映できるようにしたい。

(問) 現在「酒店」跡に進出を希望している企業の受け入れはどうか。

(答) 市民生活部長 二月と十月に業界と周辺住民を対象に説明会を開いた。その場では粉じんの被害が心配であり、屋内の密閉型の施設にしてほしいとの強い要望が出た。建ぺい率の関係で完全に屋内にはできないが可能な限りの対応を求めている。

(問) その後住民からの要望はないか。

(答) それは認識が違う。新たに反対の署名運動が始まるうとしている。こんなにひどい、劣悪な環境の工専地区は他にない。狭い道路にトラック、これだけ見ても限界だ。線引き上の工業地区(中野二、三区)ではあっても、現実には住宅が密集している。行政が認め受け入れてきた。先住権、環境権。現実をみつめ、腹を据えて住民の立場で取り組んでほしい。

(答) 市長、市民生活部長 都市計画上の線引きの見直しはすぐに

は難しいが、車両の進入や交通制限はできる。(環境保全条例など)制度の活用、土地の購入がなければ参入もできない。小松川でも一件、産廃の進出を断念させた事例もあり、関係者とスクラム組んで対応できるように積極的に研究を進めていきたい。

社会保障税名目の  
消費税増税は  
許されない

竹井 喜美富

(問) 政府税制調査会や自民党「財政改革研究会」などが、社会保障名目の消費税増税を提言している。消費税は低所得者ほど重い負担になる税金であり、これを増税して社会保障財源にすることは許されない。無駄使いをなくし大企業などへの行き過ぎた減税を見直せば財源は生み出せる。市長の見解を問う。

(答) 市長 社会保障の安定確保に対応すべく税法系の抜本的見直しを求められているなかで、消費税増税についての税制調査会の答申が示されたものと考えている。

私としては、国民に負担を強いる場合には、まず聖域なき削減に十分取り組み、国民の合意を得て進めることが大切であると考えている。

吉川新駅建設について

(問) 新駅建設は将来の人口増や街づくりの上からも必要であり重要な事業であると思う。しかし切実な住民のための施策が犠牲になってはいけない。長期の年賦償還など、財政運営を十分検討する必要がある。駅の高架化と運輸機構のグラウンド等は緑の広場用地として無償で協力してもらいたい。

(答) 市長 JR東日本から、市と運輸機構の負担分49億円(上限)が示された。運輸機構と負担割合のあり方について、当市の負



新栄地区内2-924号線

担できる範囲内の割合でと交渉している。グラウンド用地は駅前広場に活用することで交渉しているが、緑の広場構想については事業を進める中で検討する。

新栄地区内の道路改良は

(問) 今年度から部分的に実施する約束になっているがどうか。

(答) 都市建設部長 今年度はこの924号線約230mの側溝の付設替えと舗装工事を行う。国の補助金や市の財政を見ながら早期に完成するよう努力する。

都市計画税の導入は  
すべきではない

佐藤 清治

(問) 中小企業や勤労者のおかれている状況は厳しい。こうしたなかで導入することは、市民生活をより厳しい事態に追い込むことになり、実施すべきではありません。

(答) 市長 21年度に本当に実施するのか。

(答) 市長 平成21年度が都市計画税を導入する一つの節目になると考えております。

(問) 市の立場をはつきりさせていただきたい。

(答)市長 先ほど申し上げた通り21年、この辺が実施時期かと考えております。

(問) 税額について示していただきたい。

(答)政策室長 仮に21年度に実施する場合、0.3%で試算しますと約6億円、0.2%で約4億円が見込まれる状況でございます。

(問) 答弁では0.3%で約6億円と言いましたが、詳しくは0.3%で6億8673万1千円、0.2%で4億5781万4千円、0.1%の場合2億2890万7千円、の試算になっているのではないかと。

(答)政策室長 佐藤議員がおっしゃられた通りでございます。

**認定証の交付申請手続きについて**

(問) 八潮市では全要介護認定者に障害者控除対象者認定申請書が郵送されることになったが、市の取り組みは。

(答)市長 全ての要介護者に対する申請書の送付につきましては今回の申告に合わせて実施する準備を進めております。

**駅南開発と住民要望について**

(問) 雨水調整池から雨水を排水する水路が建設されているが、橋が一つしかないのは不便との声が寄せられているが。

(答)都市建設部長 新たに車道橋を設けることは難しいと思われるが、都市機構では人や自転車の通れる人道橋の可能性について検討を進めていると聞いています。

**環境問題と**

**住民のくらし**

小林 昭子

(問) ①小松川工業専用地域に新たな産廃企業の参入希望で説明会があった。粉じんなど健康被害の不安が出されている。その後の経過について伺います。

工業専用地域であっても、住宅に隣接環境下にあり、市は地域住民の健康を守る上でこれ以上産廃事業を増やさないと、抜本的な対策を講じるべきでは。②農地転用後の資材置き場で近隣住環境に悪影響が多発し問題となつています。事前協議制度等トラブルを未然に防ぐ対応策を。

(答)市民生活部長 算入企業に対

して、説明会から出された意見として、市としても、施設全体に屋根がけができないか強く要望しました。事業所は十分に理解し、今後環境保全協定を締結する予定です。日付については決まっています。

今後の新規事業所参入への対応として、事業所に土地が渡らないようシステムとして入れる事が最善の策であります。

資材置き場の問題に関しては市で把握した情報の中でどのような事が出来るのか考えていきます。

(答)都市建設部長 特定の業種の立地をさらに制限する方法として、都市計画法に基づく地区計画や建築基準法に基づく協定が考えられます。今後動向を踏まえ研究してまいります。

**学校給食と地産地消・食育**

(問) 市が最も重視している点は。食育基本法の観点でも調理現場の意見は重要。今後の検討過程に反映を。地産地消では、地場野菜の利用率20%から伸ばすために、教育委員会だけではなく、農政課等の連携も。

(答)教育部長 市が最も重視している事は安心して安全な給食を供給できることです。

地場野菜の推進に農政サイドとも連携をとっていきたい。

**新駅建設・**

**市の今後の事業と**

**財見通しは**

遠藤 義法

(問) 市長は新駅建設費用負担について「市の財政が厳しいので、(市が支出)できる範囲での額で交渉している」と述べている。市が現在実施している事業と借金返済、これから実施しなければならぬ駅南の小学校建設などから資金計画をつくらないで「できる範囲」の金額は算定できるわけではない。都市計画税の歳入増を当て込んでいるのか。

(答)市長 市の負担49億円を上限額とする提示を受けたところだが、費用負担については、運輸機構に対し市が財政的に大きな影響がないよう求めており、これをふまえた負担内容になると考えている。

(答)総務部長 平成22年度までの後期基本計画内で予定されている駅南の小学校建設が考えられるが、財源的には公債費の償還の減と歳出削減、予定されてい

る都市計画税を含めたなかで資金計画はつくっていききたい。

**さわやか市民バスの復活を**

(問) 高齢者から市民バスの復活を求める声強い。市民バスを復活すべきである。

(答)市長 市の財政と新たなバス路線が実施され、市民の交通手段がある程度確保されたことから廃止したもので復活は考えていない。

(答)健康福祉部長 交通弱者対策として野田市の豆バスの運行など、バス運行が市として妥当性があるのか今後も調査研究していく。

**市の相談活動の拡充を**

(問) 多重債務などに苦しむ住民からの相談窓口・体制を強化すべきではないか。



駅南にある中曽根小



吉川団地南側の道路

(答)市民生活部長 相談体制は十分と考えるが、追跡調査は行っていないので今後力を入れながら実施していきたい。

### UR都市機構 (吉川団地)に 環境整備を

川島 美紀

(問) 昭和47年建設の吉川団地は30年以上経過していますが、高齢者の方や子育てママたちの声から出された、公園内のトイレの設置や遊具の見直し、障がい者に優しい道路の整備等の要望に対し、市としても支援をすべきと考えますが、ご見解を伺います。

(答)都市建設部長 吉川団地南側の段差は、平成19年度から行っている沼辺公園線の道路整備に合わせて解消。その他の市道は乗り入れ口を施行したURと段差の解消について協議をしていきます。また、リハビリ遊具の設置は高齢者や障がい者等、多く居住されていますのでUR都市機構に要望をいたします。公園内のトイレの設置は、居住者の負担の発生等で難しいということです。

### 21世紀の人道の世紀へ 「健康福祉のまち」を内外にPRを

(問) 誰もが、その存在を尊重されながら生きていける地域づくり「行政と住民との協働による福祉」が重要であると考えますが、市長のご見解を伺います。  
(答)市長 平成19年度からの後期基本計画策定では、福祉環境づくりや子育て家庭の支援などの少子化対策を重点施策として取り組めます。多様な福祉ニーズに応えていくには市民一人ひとりが福祉の担い手としてパートナーシップや協働の意識を持つことが大切であると認識。現在災害時に備えた高齢者や障がい者等の要援護者の名簿登録を実施し、地域で見守る体制づくりを進めています。

### 妊婦無料健診の 拡大を

五十嵐 恵千子

(問) 公明党は少子化対策として、かねてより国や地方においても一貫して拡大を主張し、強く推進してまいりました。今、一度も健診せず飛び込みで出産する若い女性が増えています。奈良県の事例でも、病院での受け入れ拒否の理由の一つが妊婦健診を受けていないことでした。未受診の理由は「経済的理由」と伺っております。

最低必要な5回までの妊婦無料健診の拡大と、かつその存在を広く周知し、受診を促すことが必要と考えます。ご見解を。  
(答)市長 受診機会を確保し、母体や胎児の健康を守るために、5回の公費負担を行なっていく。  
(答)健康福祉部長 予算要望をしているところで、来年4月からの実施を考えています。

### 若者の就職促進を図るため、 吉川版ジョブカフェ設置を

(問) 平成16年6月定例議会において、「当市の若者の就業意欲

促進と支援の拡充を図るべき」と提案し、現在、保健センター2階相談室にて若年者就職支援相談が行なわれていますが、おあしすに場所を移し、利用促進を。

(答)市民生活部長 これまでの利用は15回11名です。今後、相談しやすくなるよう、意見を踏まえ実施の調整をしていきたい。

### 駅南での元気な高齢者「ふれあいの場所づくり」の推進を

(問) 本年6月議会で質問と提案をし、「閉じこもりや楽しみ、生きがい対策などのために大変有効であると考え、児童館など公共施設での実施が可能かどうか、施設運営や管理上の問題点など検討します。」とのご答弁をいただきました。検討の進捗状況を。

(答)市長 駅南地区に公共施設を利用した、ふれあいデイサービス実施の準備を進めています。  
(答)健康福祉部長 7月実施予定。



### 武蔵野線最終電車の 時刻延長と荒天時の 運行見合わせの解消を

互 金次郎

(問) 吉川駅ご利用の通勤・通学の方々から最終電車時刻の午前1時台までの延長と、悪天候時の運行見合わせの解消を望む声を多数いただきました。

吉川新駅構想が現実化しつつある今こそ切実な市民要望を踏まえて、輸送力の強化・改善を図るべきと考えますが。

(答)市長 武蔵野線沿線8市で構成する武蔵野線旅客輸送改善対策協議会を通じて、最終電車の時刻延長や定時運行の確保等の要望をJR東日本に対して実施していきます。

(答)都市建設部長 吉川新駅は2面3線を予定しています。始発・終電の機能があると聞いていますので、まずは新駅の開業を目指し将来的な課題として進めていくことが大事と考えます。

### 吉川中央第1調整池整備事業 計画にフットサルコート

(問) 近年、コンパクトなスペースで手軽に楽しめるフットサル



(問) 高齢者の生涯スポーツの振興は重要な課題と考えますが、(答)教育長 高齢者の増大に対応したスポーツ事業や相談など幅広く意見をとり込みながら、施設での高齢者優先利用時間帯の設定などさらに活発な活動を推進します。

**高齢者の生涯スポーツの振興で心身ともに健康な生活を**

が盛んです。市内の青少年からもフットサルコート整備を望む声を多数いただきました。第1調整池の整備事業も進んでいますが、フットサルコートの整備も検討しては。  
(答)市長 調整池本体整備は平成21年度に完了する見込みです。平成22年度から緑地の整備に着手する予定で提案のフットサルコートの整備は、今後のワークシヨップの中で検討していただきます。

**全国各地から行政視察にお越しいただきました**

○10月4日(木)

京都府福知山市議会  
市民課

総務常任委員会(議員6人・事務局1人)  
総合窓口(ワンストップサービス)について  
説明・質疑応答の後、市役所庁舎1階を見学

○11月6日(火)

大分県大分市議会  
道路公園課

会派:新市民クラブ(議員6人)  
なまずの里公園について  
説明・質疑応答の後、なまずの里公園を視察

○11月7日(水)

山形県東根市議会  
子育て支援課

会派:東政会(議員6人)  
市立保育所の運営委託について  
説明・質疑応答の後、第三保育所を視察

○11月14日(水)

新潟県南魚沼市議会  
政策室

会派:市民クラブ(議員4人)  
定員適正化計画について  
事務事業評価制度の実態について

大分県中津市議会  
政策室・財政課

総務消防常任委員会(議員8人・事務局1人)  
行財政改革について

○11月22日(木)

静岡県島田市議会  
いきいき推進課

民生病院常任委員会(議員8人・事務局1人)  
高齢者福祉施策  
吉川市介護福祉総合条例について

○11月27日(火)

岩手県大船渡市議会  
議会事務局

議会運営委員会(議員7人・事務局1人)  
議会運営・議会改革について

○11月29日(木)

埼玉県越谷市議会  
市民安全課

議員4人  
放置自転車の対応について



白ぬきの府県から来庁していただいています。



## 議員研修会に出席しました

10月17日（水）三郷市鷹野文化センターにおいて、\*南部正副議長会主催の議員研修会が開催され、20人の議員が出席しました。研修会は、東京大学法学部教授の金井利之氏による「三位一体改革における今後の展望について」の講演でした。

\*南部正副議長会：三郷市、八潮市、松伏町、吉川市の議会で構成されています。

## 議会を傍聴してみませんか

吉川市議会では3・6・9・12月の定例会と必要に応じて行われる臨時会を開催しています。

皆様の選んだ議員が、吉川市を明るく住みよいまちにするために活動しておりますので、傍聴をお勧めします。傍聴の際には、受付にて氏名・住所を記入してください。

なお、傍聴する際には、「携帯電話の電源を切る」など守っていただく事項があります。

車椅子での傍聴も可能です。事前にご連絡ください。

改選後の初議会（臨時会）は、2月6日に開会される予定です。

平成20年第1回定例会開会予定は **未定** です。

**決定しだい、ホームページでお知らせします。**

平成19年定例会の傍聴者数

|        | 本会議 | 委員会 | 合計  |
|--------|-----|-----|-----|
| 3月定例会  | 36人 | 10人 | 46人 |
| 6月定例会  | 20人 | 5人  | 25人 |
| 9月定例会  | 20人 | 5人  | 25人 |
| 12月定例会 | 19人 | 1人  | 20人 |

## 野口 博議員 総務大臣感謝状受賞



地方議会の議員として35年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったと認められ、総務大臣から感謝状が贈呈されました。

10月17日麴町会館において、贈呈式が行われました。平成19年度は市議会議員から50人、町村議会議員から23人が感謝状を贈呈されました。

## お知らせ

目の不自由な方のために、『よしかわ議会だより』のテープ版を朗読サークル「きんもくせい」で作成しています。ご家族やお知り合いの方で、ご希望される方は、下記までご連絡ください。

連絡先 吉川市吉川二丁目1番地1

吉川市議会事務局 ☎048-982-9421（直通）

## 市議会ホームページをご覧ください

市議会議員の紹介や本会議の会議録、定例会の会期、一般質問通告一覧などが、ホームページでご覧になれます。改選後の議会日程もこちらでお知らせします。ぜひ、ご利用ください。

なお、会議録冊子（本会議・委員会とも）は

■市立図書館

■視聴覚ライブラリー図書室

■旭地区センター図書室

■中央公民館図書室

■議会事務局

で閲覧することもできます。ただし、最新の会議の会議録の提供までには3ヵ月程かかります。

《吉川市ホームページ》

<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/>



## 議会日誌

### 【10月】

- 1日 議会広報委員会
- 4日 京都府福知山市議会行政視察来庁
- 11日 浦和野田線建設促進要望活動（千葉市）
- 12日 日本共産党吉川市議員団会派行政視察  
（旭学童保育室、老人福祉センター）
- 17日 南部正副議長会議員研修会（三郷市）
- 18～19日 公明党吉川市議員団会派行政視察  
（新潟県見附市・長岡市）

### 【11月】

- 10/31
- ～1日 自由民主党吉川市議員団会派行政視察  
（兵庫県豊岡市・鳥取県鳥取市）
- 6日 大分県大分市議会行政視察来庁
- 7日 東埼玉道路建設促進に関する要望活動  
山形県東根市議会行政視察来庁
- 8～9日 南部正副議長会視察研修会（静岡県三島市議会）
- 13日 会派代表者会
- 14日 新潟県南魚沼市議会行政視察来庁  
大分県中津市議会行政視察来庁
- 16日 地下鉄8号線建設促進要望活動
- 18日 市民まつり交通安全パレード・市民まつり開会式典
- 22日 静岡県島田市議会行政視察来庁
- 26日 議会運営委員会
- 27日 岩手県大船渡市議会行政視察来庁
- 29日 越谷市議会行政視察来庁
- 30日 本会議（開会、議案上程）

### 【12月】

- 4日 本会議（議案審議）
- 5日 委員会（総務常任委員会、文教常任委員会…議案審査）
- 6日 委員会（福祉生活常任委員会、建設水道常任委員会…議案審査）
- 11日 本会議（委員長報告）
- 12日 本会議（一般質問）
- 13日 本会議（一般質問）
- 14日 本会議（一般質問、閉会）
- 20日 議会広報委員会
- 25日 東埼玉資源環境組合議会
- 26日 吉川松伏消防組合議会

議会広報委員会委員の任期満了により、現委員での編集はこの号をもって最後となります。2年間ご愛読いただきまして、ありがとうございました。次号より新たな委員での編集となりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



## 編集後記

平成19年12月吉川市議会定例会は12月14日、一般質問の最終日に4本の国に対する意見書を議長に一任して無事、終了しました。任期最後の議会ですので、市民の代表として25名の議員はそれぞれ精一杯の活動を展開いたしました。

さて、平成19年度の漢字に「偽」が選ばれましたが、本市においては「そんなの関係ない」市と思います。広報委員会も市民の皆様と親しくしてもらえる「議会だより」をと、話し合っ工夫して参りました。今後も市政に対する熱き思いを大切にして、市の発展に努めてまいります。本当にありがとうございました。

(M・K)